

あ ら や 衆 報

No.104 平成17年1月1日

発行・新屋振興会 会長高橋昌一

編集・新屋振興会広報部

印刷・株式会社J A プリントあきた

- ② 要望事項に対する関係機関の回答
- ③ 民生児童委員名簿・表彰
- ④⑤ 「新屋の郷土行事」について
- ⑥⑦ 記念行事を終えて
- ⑧⑨⑩ 地域行事トピックス



秋田市夏祭り雄物川花火大会



带状公園の桜並木



あ ら や 大川散歩道雪まつり

昨日まで一片の夢にすぎなかったが、今日はもう可能性がいっぱい、そして明日こそは必ず現実のものに……これは宇宙科学者たちだけの合言葉であってはならないと思います。我々も、町民の皆様も、夢を可能にし現実にする努力をしなければならな

昨日は夢
今日は可能性
明日は現実
新屋振興会
会長高橋昌一

新屋町の皆さん、新年あけましておめでとうございます。ご家族と共に元気で新年をお迎えになったことと存じます。昨年は、秋田市政建都四百年、日新小学校の創立百三十周年、西中学校の創立四十周年として新屋高校の創立二十周年とそれぞれの節目を祝う慶事の年でありました。又、一昨年のプレスステージ・インターナショナルに続き、西部工業団地に大型コー



新屋振興会会長
高橋 昌一

よりよい あしたを求めて

要望事項に対する関係機関の回答

毎年、町内会、各種団体より要望事項を取りまとめ、上部機関に要望書を提出しております。
今年度も、7月に町内会長・理事連絡協議会で、提出された要望事項を整理し関係機関に要望しました。その回答が文書で出されましたので、お知らせします。

要 望 事 項	回 答
◎秋田市に対する要望 1. 西部地区の拠点となる、(仮称)西部市民サービスセンター(新屋支所・西部公民館・新屋コミセン等合築施設)を新屋扇町13番地内へ早期に建設するよう要望いたします。(新規) 《西部地区振興会》	本市の公共施設整備については、財政状況を踏まえつつ、施設運営の効率化や利便性の向上を目的として、施設の複合化・多機能化を図っていくことを原則としております。又、新市の市町村建設計画である「緑あふれる新県都プラン」において、市町合併に伴う新市移行後の適切な行政機能を構築するため、さらに市民協働、都市内地域分権の一層の進展と実現を図るため、本市の東西南北各地域への(仮称)市民サービスセンターの設置を盛り込んだところです。 西部地域については、「緑あふれる新県都プラン」の前期計画期間中に、(仮称)西部市民サービスセンターを設置することとしておりますが、 <u>具体的な施設構成については現段階で未定です。</u> 今後は、地域の特性や住民ニーズを可能な限り反映させながら、既存公共施設の老朽度や施設運営の効率化などを総合的に勘案し、適正な建設経費や運営経費に基づく施設整備計画をできるだけ早期に策定いたします。施設の建設地についても、この計画策定に合わせて選定してまいります。 【企画調整課】
2. 町内会等地域ボランティアに対し市役所職員の協力体制の強化について(新規) 町内会等ボランティア団体への仕事は年々増加してきておりますが、これら団体に対する役員の成り手がなく苦勞しておる実情です。市役所職員が地域ボランティアの仕事を経験することは、住民の意識を知る上で大切だと思いますので、市職員が居住するこれらの団体に積極的に関与されるよう行政側から推奨されますよう要望いたします。 《西部地区振興会》	ご要望についてですが、市役所職員が町内会等の地域活動・ボランティア活動に参加し、住民の声を直接聞くことは、公務員としての資質を向上させること、また、地域の活性化に寄与するなどの観点から意義あると思いますので、職員に対し、 <u>研修や庁内広報を通じ、積極的に地域活動やボランティア活動に参加するよう、指導していきたいと考えております。</u> 【人 事 課】
3. 新屋比内町市営住宅の早期改築について(継続) 毎年のごとく要望しておりますが、居住者の実情を考慮の上、速かに住宅の早期改築(建替)をお願いします。 《比 内 町》	市営住宅の建替え事業については、「公営住宅ストック総合活用計画」に基づき、老朽化の著しい小規模団地の統廃合や、借地の解消などを含めた計画の中で行っております。ご要望の新屋比内町団地については、現在、建替え事業を行っている牛島清水町団地3号棟の <u>完成後、事業手法等を検討のうえ、建替えに着手したいと考えていますので、ご理解をお願いします。</u> 【住宅整備課】
4. 大川端帯状近隣公園配水路のよどみの部分に、大量の黒い蚊が発生し、庭木の手入れや畑作業の時に蚊に刺されて大変であったとのこと。その時はさなぎの抜け殻で水面が真っ白になったそうです。平成14年、15年と大川端帯状公園の流水溝(下流)の改修について、振興会として市に要望書を出しておりますが、抜本的な改修の検討をお願いします。 《新屋振興会》	ご要望の件については、せせらぎ水路の清掃作業や滝口部分の汚泥除去作業を引き続き行うとともに、 <u>平成16年度に下流部のよどみの改修工事を実施します。</u> 【下水道建設課】
5. 西中グラウンド脇道市道の通学路の整備について(新規) 西中グラウンド脇の通学路の歩道まで、車輛が乗り入れていることが多いため、防止柵(緑石ブロックなど)を設置して貰いたい。平日夕方・土・日などの西部グラウンド使用時が多く、小中学生の下校時や部活動のランニングなどで安全上の問題があり早急に設置をお願いします。 又、駐車場の砂利が、L字配水路に多く落ちており定期的な清掃をお願いします。 《十条団地町内会》	ご要望の位置に防護柵等を設置すると、桜の植樹帯部分が、道路敷地と異なる用途として継続的に使用されることから、車道から植樹帯への進入を防止する防護柵等の設置について検討してまいります。なお、L型側溝の砂利清掃については、防護柵等の設置により構造上、側溝に砂利が入りこむことを防ぐことが、可能になると思われますので、 <u>定期的な砂利の除去作業は不要と考えます。</u> 【道路建設課・市民相談室】
6. 雄物川堤防市道から美術短大に下る道路の危険防止対策について(新規) 雄物川沿いの道路から美術短大方面に下る道路(大川町町内会館前)が狭いの両方向通行出来るので、特に朝夕の通勤時に雄物川側からスピードをゆるめずに降りてくる車両が多い、特にすぐ下にT字路があり危険です。時間規制か、下から上への一方通行にするなど、何らかの危険防止策をお願いします。 《十条団地町内会》	秋田警察署に要望内容を伝えたところ、「当該道路の延長が短いため、時間規制等を行っても実効性がなく、規制の新設は困難である」とのことでした。 【生 活 課】
7. 大川端帯状近隣公園、大川散歩道、緑地帯などの整備について(新規) 近年では、植林された桜の木も大きくなり、アメシロの苦情や木の枝で街灯の照明が遮られ、歩道が暗く青少年や住民が事故に巻き込まれることが、心配です。アメシロの駆除や整枝作業を定期的に行い、安全で、きれいな親しまれる公園にしていきたい。 《十条団地町内会》	アメシロ対策については、事前に調査をしながら防除を進めていますが、地域住民からの連絡も貴重な情報源であることから、今後もご協力を頂きながら迅速な対応に努めてまいります。なお、大川散歩道については、これまでもアメシロの発生状況を見ながら駆除や整枝作業を実施していますが、今後もパトロールをしながら、アメシロの発生状況に応じた駆除や必要に応じた整枝作業を実施してまいります。また、大川端帯状近隣公園及び、緑地帯にある桜等の枝により街灯の照明が遮られている箇所については、 <u>随時剪定を進めながら、安全で親しまれる公園づくりに努めてまいります。</u> 【公園課・道路維持課】
8. 田尻沢地区から県道寺内新屋雄和バイパスに進入する道路に一時停止線の表示について(新規) 田尻沢地区内から上記県道に出入する車道は数本ありますが、いずれの進入口にも停止線の表示がなく、県道の歩道通行者が危険にさらされております。一時停止ラインの表示をおねがいします。 《南団地町内会》	秋田警察署に要望内容を伝えたところ、「要望のあった三か所のうち、十字路交差点となっている西側部分については、一時停止規制の新設を検討するが、他の二か所については、道路の主従関係が明確であるため、一時停止規制を行うことは困難である」とのことでした。 【生 活 課】

要 望 事 項	回 答
9. カーブミラーの設置について（新規） (1) 国道7号線新町後から市道浜街道2号線に入るT字路は、ももさだ海岸方面が非常に見通しが悪いので、カーブミラーの設置をお願いします。 《十条団地町内会》 (2) 新屋図書館、アトリエももさだ、美術短大の駐車場から市道へ出るとき、垣根で左右の見通しが悪く交通事故の発生が心配です。対面に安全ミラーの設置をお願いします。（設置箇所3箇所） 《十条団地町内会》	来年度、設置出来るように検討してまいります。 【道路建設課】 まず、新屋図書館駐車場の出入り口についてですが、平成16年8月6日に垣根を剪定し、見通しをよくしたところです。今後も、定期的に剪定するなど見通しの確保に努めるとともに、事故防止のためのミラーの設置を検討してまいります。次に、本学の駐車場から市道へ出る垣根については、左右の見通しが悪くならないよう刈り込みを行うなどの安全確保に努めているところから、現在のところ安全ミラーの設置は考えておりませんが、今後、検討してまいります。 図書館利用者および本学の施設利用者の方に対して、市道に出る際の一時停止の励行等や交通安全への注意を喚起し、事故の未然防止に努めてまいります。 【新屋図書館・美術工芸短期大学事務局総務課】
(3) 県道寺内新屋雄和線（旧道）は、自転車での通勤の人達、特に自転車で登校する高校生が多く、小路での出会い頭にヒヤットさせられる瞬間が幾度となくあります。『事故が起きてからでは遅い』ので沖田町8-5利部宅横のT字路にカーブミラーの設置をお願いします。 《沖田町町内会》 (4) 新屋大川町15-10の角地にカーブミラー設置をお願いします。当該地は変則五差路で現在17-17角地に2本のカーブミラーが設置されている。しかし、元町方面から秋田市方面に向う車が同五差路を左折する車が多く、老人ホーム「だいせん」側より直進する車が非常に危険ですので、早急に設置をお願いします。 《大川町町内会》	来年度、設置できるよう検討してまいります。 【道路建設課】 来年度、設置できるよう検討してまいります。 【道路建設課】
○秋田県に対する要望 1. 豊岩踏切の歩道部分の拡幅について（継続）	現在、踏切部分を含め秋田市と道路の引き継ぎ協議を進めております。ご指摘のとおり歩道が狭く、歩行者や自転車などの踏切事故が心配されますので、ご要望の件については、引き続き秋田市と協議を進めてまいります。 【秋田県建設交通部道路環境課】
○秋田中央郵便局に対する要望 1. 郵便ポストの設置について（新規） 田尻沢地区から最寄りの郵便局までには相当の距離があり、又、地区内には郵便ポストが少なく不便です。県道寺内新屋雄和線バイパス沿線沿いの田尻沢西町地内スーパーストア付近に郵便ポストの設置をお願いします。 《南団地町内会》	出来るだけ早期に郵便ポストの設置を図ります。（10月設置済） 【秋田中央郵便局】

民生児童委員名簿

平成16年12月1日

	氏 名	住 所	電話番号	担当地区
1	伊藤 一	新屋栗田町4-11	3 1 9 6	北 新 町
2	佐藤 勝男	新屋扇町12-50	6 7 2 7	駅 前 町
3	三浦 陽美	新屋表町11-56	3 0 9 3	上 表 町
4	渡邊 一義	新屋日吉町40-22	6 6 5 8	関 町
5	海風久美子	新屋元町16-3	7 3 1 5	下 表 町
6	横山 秀男	新屋元町2-17	3 6 7 0	緑 町
7	森本 読春	新屋比内町20-48	2 2 7 6	比 内 町
8	熊地 春悦	新屋比内町10-35	4 0 8 2	比 内 町
9	尾形益治郎	新屋大川町28-27	5 2 2 9	十條団地
10	鈴木ケイ子	新屋田尻沢東町3-62	3 3 7 2	田尻沢町
11	本川 圭子	新屋大川町8-14	1 8 7 2	大 川 町
12	小野 トシ	新屋日吉町14-40	5 5 5 8	日の出町
13	佐藤 吉茂	新屋町関町後190-18	7 3 2 3	県 住
14	横山 茂	新屋高美町1-21	4 7 3 5	高 美 町
15	菅原 チエ	新屋栗田町15-26	4 9 4 7	南 新 町
16	田口 克己	新屋日吉町9-46	3 1 8 6	愛 宕 町
17	阿部 和子	新屋沖田町10-2	3 9 9 4	沖 田 町
18	伊藤 祐子	新屋田尻沢西町1-20	5 3 6 3	南 団 地
19	石井エミ子	新屋比内町48市住98号	2 4 3 4	市 住
20	藤原久美子	新屋扇町2-9	5 1 0 2	中 表 町
21	柴田 益子	新屋町字関町後190-43	6 6 1 9	関 町 後
22	正木瑠美子	新屋元町3-25	2 2 2 9	笹 町
23	後藤 恵子	新屋渋谷町4-28	7 6 2 8	児童委員
24	佐々木直子	新屋栗田町17-31	1 9 9 7	児童委員

表 彰

○第3回危険業務従事叙勲

斉 藤 善 雄（南新町）

○市の防災行政への多大なる尽力に対する感謝状

中津川 正次郎（駅前町）

「市の記念日」功労者表彰

○税財政（納税貯蓄組合長）

伊 藤 福三郎（十條団地）

佐 藤 金 一（田尻沢町）

○社会福祉（福祉施設職員）

斉 藤 花 子（高美町）

鎌 田 キヨ子（比内町）

佐 藤 広 美（大川町）

行事 について

新屋の子どもたち — 分たちで準備・運営をしていた



左から横山秀男さん、佐々木良吉さん、大塚竹次郎さん
(イラストは佐々木良吉さん)

にお集まりいただき、当時（50～60年前）の記憶を思い出していただきました。
（下表町）、大塚竹次郎さん（北新町）の方にご参加いただき、座談会をしました。
子どもの育成に力を入れており鹿嶋祭り、遊山、よちやこの灯籠、やぐらっこ、日吉
む姿がありました。

持ちもあり、広く知っていただくために、今回は特集の記事にさせていただきました。

運営は高学年が仕切る

高等二年生（現在の中学生）が主
体となり、プログラムを作成したり、
賞品を買ったりして準備をした。だ
いた準備期間は、一ヶ月くらいか
かっていった。高等一年生も次年度の
見習いのために一緒に参加していた。
また、町内からお金がでなかったた
め、家々から寄付を集めたりした。
それも子どもたちがやっていた。高
等二年生は賞品をもらわなかった。
当日遊山場に飾る万国旗は、子ども
たちみんなで手作りしたり、修理し
たりしていた。

子どもたちが企画した運動 会、遊山（ゆうさん）

親が干渉せずに、子どもたちが自
主的に運営をしていた。上級生がお
にぎりを腰に下げて、木内（現在の広
小路の木内）まで賞品を買いに行っ
たもんだ。各町内ごとに遊山場を
もっていて、春休みになると遊山場
内で家族の場所取りをして（早いも
の勝ち）、そこで昼飯を食べたもんだ。

遊山の和口

遊山の日、学校へ行ったが朝礼
をやって一時間くらいしたら全員が
帰ったもんだ。当日（四月二十五日）
は天神さん（菅原道真）のお祭りが
あり、あんびん（草餅と紅白の餅）を
もって遊山場へいった。町内の全員
が参加したもんだ。学校の先生が担
当の町内を回り、一杯やつたりして
町内の人々と一緒に楽しんだもんだ。

遊山は子どもと親が一緒に 楽しむ行事であった

子どものリーダー（子ども会の会
長）が仕切っていた。賞品には学用
品を準備して、運動会やマラソンな
どをやり、当時遊びもない時代で
あったため親も一緒に楽しめる行事
になっていた。当時は親も休みがなく、
子どもの行事にかこつけて休んだり遊
んだりということであったのだから。こ
の遊山という行事を通じて、上級生が
下級生を面倒見るということが行わ
れていた。昔から新屋に住んでいる人
は、必ず遊山を経験しているはずだ。

雪が融けて春になるとまず行われたのが4月の遊山でした。



そして桜が咲く5月、みんなが楽しみにしている鹿嶋祭りがあり
ました。現在では、6月の第二日曜日に行われている鹿嶋祭りは、
昔は5月の行事だったようです。
5月の節句は男の子の行事になっていますが、宵節句や鹿嶋祭りは
男の子だけではなく女の子も含めた子どもの節句としてやって
いたようです。

鹿嶋祭の唄

ショッショッショー
鹿島のおくりショッショッショー
寺のかげまでおくるまでショー

宵節句

鹿嶋さんの前日に行われていた。
鹿嶋舟に人形を上げるときに、菖蒲
も一緒にあげていた。そこで、余つ
た菖蒲は風呂に入れて、菖蒲湯とし
て子どもたちは楽しんだ。湯にいれ
た菖蒲で病気になるように子ども
たちの体をこすり、頭をこすれば
頭がよくなり、肩が痛ければ肩をこ
すり子どもたちの健康を願い、毎
年続けられていた。大人はといえば、
よもぎ焼酎を飲んだようだ。

鹿嶋舟にはがじ（び）ぎ （草の名前）が必需品

鹿嶋祭りに使う、鹿嶋舟は子ども
たちが作る人形を乗せて日吉神社ま
で曳いていかれ、そこでお祓いを受
け、御幣を刺してもらい町内へ帰っ
てくる。舟にはたくさんのがじぎが
まかれています。昔はあちこちにな
り、今のように難儀をしなくても
方々に生えていたもんだ。また、菖
蒲やよもぎは魔除としても用いられ、
家の軒下に吊るしたりしたもんだ。



鹿嶋祭りの当日は草を踏むこ と「つゆふみ」からはじまる

お祭りの当日は、朝に早く起きて
「つゆ踏み」といって、今の西中のゲ
ラウンドあたりに集まり、はだしで
草むらのつゆを踏んで、それから鹿
嶋祭りにいったもんだ。昔は靴を履
いている人もなかった時代で、家に
帰っても足は洗わなかった。じょう
ぶになるという意味があったようだ。

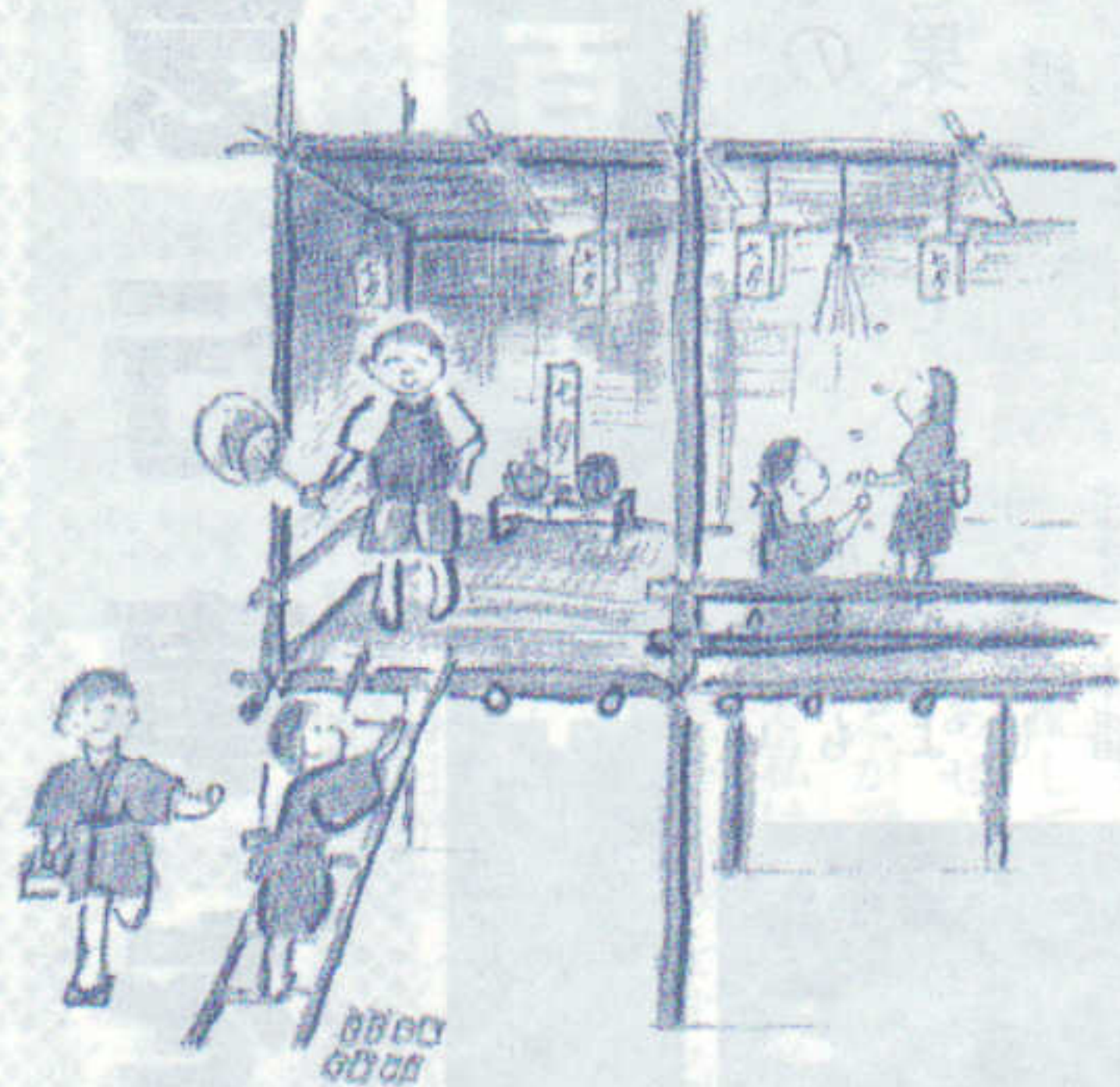
子どもが生まれたら旗を 作った

旗は長男が生まれれば各家々で
作ったもんだ。最近では女の子が生
まれても作っている家もある。〇〇
氏と書いた旗や子どもの名前を全部
入れた旗があったりした。昔の親は
子どもの成長を願って作っていたん
だな。今以上に子どものことに力を

特集

「新屋の郷土」

—— たくましく育て！ 子どもたちが中心となって自



建都400年の記念すべき年でもあり、今回は新屋の郷土行事について昔を知る方々
新屋の郷土行事に詳しい3名（出席者：横山秀男さん（緑町）、佐々木良吉さん
ここ新屋には郷土に根付いた生きた行事がたくさんあったようです。昔から新屋は、
神社の祭典、栗田神社のお祭りと毎月のように行事があり、それに乗じて大人も楽し
出席者のみなさんがこれを引き継ぎ次の世代へ継承してってもらいたいという気

鹿嶋人形は子どもの厄除け の意味があった

子どもたちが作った鹿嶋人形は、
お祭りの当日鹿嶋舟に乗せられ新屋

入れていたことが伺えるな。

の日吉神社まで曳かれお祓いを受け
る。町内に戻ってきた鹿嶋舟から人
形は下ろされ、小さい舟に乗せかえ
られて雄物川に流したもんだ。子ど
もたちの災いを鹿嶋人形にさせて、
川に流し子どもたちの難を逃れたも
んだ。

また、暑い夏には楽しい子どもたちの演芸会もあったようです。

よちやこの灯籠の唄

- | | |
|-------------|----------|
| 一、よちやこの灯籠は | よちやよちやで |
| それやねぶり流しよう | ねぶり流しよう |
| 二、お寺の梨の木さ | 梨なつた |
| もいでも、もいでも | もげえねもげえね |
| 三、ごまんのまきしきさ | 白なぶさ |
| 一本坊薬 | 咲いだどせえ |
| それやねぶり流しよう | ねぶり流しよう |

新屋の七夕祭り、やぐらこ とよちやこの灯籠

やぐらこ（櫓）

七月に入り、七夕が近づくと町内
単位で協力してやぐらこを建てたも
んだ。丸木棒と板と荒縄で、簡単に
こしらえたもんだ。建てる場所は、
町内の通りに面した旧家の屋敷が選
ばれていたようだ。このやぐらこが
出来上がる頃、夜になると子どもた
ちはやぐらこへ集まり、明るい灯籠
のもとで学芸会が開催されていた。
学校の学芸会と違い子どもたちが自
主的にプログラムを組み、やぐらこ
の上でハーモニカや横笛を吹いたり、
朗読やお芝居などを披露していたも
んだ。大人たちは夕涼みしながら、
浴衣にうちわ姿でやぐらこで演ずる



子どもたちの芸を楽しんでいたも
んだ。また、やぐらこで蚊帳と布団を
もって一夜泊ったりしたもんだ。楽
しかったもんだ。

よちやこの灯籠

七夕の行事であった。七月六日の
宵祭りには、ねぶり流しの「よちや
この灯籠」（幼稚時の灯籠）が全町
内に繰り広げられた。男の子は、武
者絵、女の子はおいらん（浮世絵）

の絵を書いた灯籠を持って町内中を
歌を歌いながら歩き回り戻ってくる。
七夕にちなみ、灯籠の側面には「天
の川」や「七夕」を書いてある。各
町内でやっていた。

七月七日を迎えると楽しかった七夕行事も終わりとりました。
そしてお楽しみの海開きと夏休み。行事はまだまだ続いたよう
です。



奉納余興と奉納相撲の栗田 神社祭り

栗田神社祭り

このお祭りは、栗田定之丞の業績
に感謝の意を表すために行われてい
る。七月三十一日を宵祭り、八月一
日を本祭りといって二日間で行い、
宵祭りには現在でも奉納余興が夜遅
くまで行われている。本祭りには、
昔は奉納相撲が行われ全県から人が

集まったもんだ。今でも栗田神社の
境内には、土俵があり子どもたちの
相撲大会が開催されている。今では
出店が何軒かしかでいて、全盛期
には鳥居前から現在の大塚商店
までの道路の両側に店が並び人々
で賑わったもんだ。当時バナナの皮を
とり、くさったところを包丁で切っ
て皿に盛って売っていたため、「手術
屋」と呼ばれるバナナ売りがあった。

このように昔の新屋の町では、元気な子どもたちが原っぱを駆け
回り、大声で歌を歌ったり、踊りを踊っていた姿があったよう
です。今回お話を伺い、ここ新屋ではさまざまな行事を通じて、子
どもの健康を願い健やかな成長を祈る親の姿と、自主的に活動し
町内中に元気を分けてくれた子どもたちの姿があり、これから
これを受け継いでもらいたいものです。

記念行事を終えて

日新小百三十周年

6年生としての
責任を果たして

日新小学校 六年一組
深井 美樹

創立百三十周年記念式典を終えて、心に残ったことが二つあります。

一つ目は、委員会での活動です。計画委員会には、『あいさつ』や『司会』というとても大切な役割がありました。私は、『司会』をすることになりました。司会原稿を考えたり、放課後に一生懸命練習したり、ふだんから口を大きく開けてはつきり話すように心がけたりしました。本番は、真坂由里子さんと二人で協力して精一杯がんばり、今までの練習の成果を出すことができたと思います。

二つ目は、学年の発表です。六年生は、わたしたちのふるさとである新屋のことを詩にした『新屋とともに』と、歌『ふるさと』を発表しました。『新屋とともに』は、六年生みんなで考えた心の込もった詩です。この長くて意味が深い詩を、六年生全員で群読するというのは、すごく難しいことだと思いました。でも、練習を重ねるごとに、詩の意味が分かってきたし、新屋のよさや日新小のよさを改めて感じ、それを大切にして

いこうとい

う気持ちも

高まったよ

うな気がし

ます。本番

は、六年生

みんなの力

を合わせて

とてもいい

発表ができ

たし、わた

したちの気

持ちが来て

くださった

お客様方に

も伝わった

ような気が

してとても

うれしかっ

たです。

今回の式

典では、六

年生として

責任ある役

割を果たし

たり、委員

会や学年の

みんなと心

を一つにし

てがんばっ

たりするこ

とができま

した。とて

も大変だっ

たけれど、

大変だった

分、大きな

達成感を味

わうことが

できました

。この式典

は、私にと

って一生涯

に残る大切

な思い出に

なると思い

ます。



子供たちが

主役の記念式典に

日新小学校 教諭

三 浦 紀美子

「百三十年の歴史を背負う日新小 支え合い 夢を抱いて未来をひらけ」

これは、計画委員会が中心となり全校の子供たちからアイディアを集め、話し合いによって決めた百三十周年記念のテーマです。このテーマを掲げることに、日新小学校の百三十歳を全校のみんなでお祝いしようという気持ちが高まってきました。

「百三十年という節目の年を六年生として迎えることになった子供たちに、誇りをもってほしい。子供たちが主役の記念式典にしたい。」そんな気持ちで計画委員会の活動を支援してきました。自分たちで考え、準備を進めていくことで、子供たちの新屋に対する愛情や地域の人々への感謝、日新小学校の歴史を大切にしようとする心が育ってきました。

第一部の記念式典での呼びかけや第二部の学習発表、第三部の進行、プログラムの準備、あいさつの言葉なども全て、子供たちが自分の考えを出し合いながら作り上げていったものです。子供たちは自信をもって生き生きと活動し、「やり遂げた。」という達成感をもって式典を振り返っていました。

また、一年生から六年生までそれぞれの学年でも、子供たちの愛校心や新屋に対する誇りを高めるための取り組みが行われ、「子供たちの成長が感じられる発表だった。」と、地域の方々や来賓の皆様から高い評価をいただくことができました。

百三十周年記念式典の一つの節目として、これからも、保護者の方々や地域の皆様と力を合わせ、新屋の宝である子供たちの健やかな成長を目指していきたいと思えます。

西中四十周年

明日への糧

秋田西中二十七期卒

三 戸 学

十月三十日、創立四十周年記念式典が本校体育館で開かれ、記念式典は三部構成で行われました。第一部の実行委員長挨拶・校長式辞・来賓祝辞：で始まり、第二部『思いを語る』昨日から明日へのメッセージでは、生徒が司会をして、西中四十年の歩みを振り返りました。パワーポイントで映し出された写真から、これまで築

き上げられた伝統を感じました。そして、未来へと夢を馳せたひとときでした。第三部『夢を語る』あなたへのメッセージは、メンバー全員が西中卒という音楽グループ『麗奈』のバンド演奏でした。その数曲を吹奏楽部の生徒とジョイント演奏をしました。また、私と伊藤香先生の演奏で、一年生の有志生徒と歌った記念ソング『風になれ』や『マイバラード』の全校合唱もありました。それぞれの美しいハーモニーが会場を優しく包み込みました。

式典の約二週間前から麗奈の曲は親しみました。当日は、歌詞を口ずさむ生徒や椅子の上で手拍子をとる生徒もいました。『下浜BABY』の演奏が始まると、歓声が起きました。最後に、麗奈から「夢を持って生きてください」と言う素晴らしいメッセージが送られました。生徒一人一人の心に届いたと思います。

さて、私事になりますが、この春、母校の秋田西中に赴任しました。母校で教師生活を送れることに喜びを感じています。それに加えて教師として創立四十周



年記念式典を祝うことができ、その巡り合わせの偶然に感謝しています。これからも、後輩が楽しく学校生活を送られるように、ベストを尽くしていきます。

最後に、地域の方々の温かいご支援のもと、四十周年記念式典を楽しい時間として過ごすことができましたことに、心から感謝いたします。

秋田西中学校

四十周年記念式典を終えて

二年五組

石 黒 なつ美

四十周年記念式典は、三部構成で行われました。その中で私は第二部のナレーションを担当しました。開校当時の西中の様子から四十周年に至るまでの歩みをプロジェクターを使って紹介するというものです。



本番の一週間くらい前から練習が始まりました。初めて見る画面でのナレーションは、話すことで一杯でした。練習を重ね、本番までに何回もプレゼンを見ましたがその度に少しずつ西中の歴史を理解していききました。今まで、何度も伝統という言葉に耳にしていたが、この第二部を進めるという立場になって、改めて伝統という言葉の重さを感じることができました。そして、その重さを感じると共に本番を成功させなければという責任がプレッシャーとなりました。

本番前、何度も「明るい声ではきはき」と自分に言い聞かせました。本番はナレーションの前に一期生の方へのインタビューがありました。一期生と聞いたときはなんとなく高齢の方を想像しましたが、実際に会ってみると若い方だったのでびっくりしました。また、お話を聞いてみると今も昔もそんなに変わらない生活を送っていたことがわかりました。インタビューの時はすごく緊張していましたが、終わった安心感で緊張も少しほぐれ、心配していたナレーションはあせらずゆつくり話すことができました。この式典で私は、本当に数少ない貴重な体験をすることができました。これから、西中のさらなる向上を目指し、毎日が楽しく充実した学校生活となるように努力したいと思います。そして、自分も西中と共に大きく成長したいと思っています。

新高二十周年

二十周年記念事業を

実施して

秋田県立新屋高等学校 校長

岡 野 文 秀

本校は、秋田市の雄物川以南に位置する唯一の県立普通高等学校として、昭和五十九年四月一日に開校しました。それから今年で創立二十周年を迎えました。

昨年度は、二十周年記念事業実行委員会を立ち上げ、記念式典、祝賀会、招待試合、講演会、演奏会、記念誌発行を主な記念事業に決め、準備をしてきました。

今年度に入ってから、六月二十八日に、こまち球場で名門横浜高校を招いて野球の招待試合を行いました。しかし、あいにく朝から雨模様でグラウンドがぬかるみ、セレモニードだけは行いましたが、試合はできませんでした。観にこられた多くの方々に失望させたことを申し訳なく思っております。

(なお、当日場所を八郎潟の弁天球場に移して練習試合をすることができました。)

九月八日には、県立体育館で午前中は女子のバスケットボールを、全国大会上位入賞の力を持つ秋田経法大附属高校と、午後はサッカーの名実共に全国トップの市立船橋高校と、台風一過の強風の元で試合を行いました。どの試合も、選手にとっては全国上位の力はどういうものなのかを直に知ることができ大変に良い機会となったと思います。

美短十周年

新屋まちなみシンポジウムを

企画して

秋田公立美術工芸短期大学

産業デザイン学科 環境デザインコース

おかげさまで、美短が新屋に開学して十年目を迎えました。これもひとえに新屋の皆様の当大学設立へのご理解とご支援の賜物と深く感謝しております。

さてこの度たくさんの方々のご協力を得まして開催することができました「新屋まちなみシンポジウム」は、産業デザイン学科環境デザインコース担当教員(澤田、石垣、菅原)の発案により企画したものです。

環境デザインコース専攻科では授業の一環として、地域産業と環境デザインについて授業展開をしておりましたが、本年は地元

の「新屋のまちなみ」をテーマとして取り上げ、四月より学生と共に調査研究してまいりました。

その結果、特に注目されたのは、趣のある商家の町屋が数多く残る新屋表町通りと、大川端親水公園の桜並木です。どちらも地域産業を発端として生まれたまちなみであり、新屋らしさを醸し出す貴重な財産であると考え、これらを活かしたまちづくりにおいて、環境デザインコースならではの地域の貢献ができるのではないかと考えました。そこで、学生によるまちなみ



みに実地調査やスケッチを行い、基礎資料を作成しました。次に、地元代表として新屋振興会会長の高橋昌一氏から、新屋の歩みについてお話し頂き、専攻科学生による発表と合わせてまちの成り立ちと現況との関係を再認識し、まちづくりの政策的専門家である構想日本加藤秀樹氏による講演とパネルディスカッションを通じて、大学と地域の皆様と一緒にまちづくりについて考える「きっかけづくり」として今回のシンポジウムを企画いたしました。今後、地域の皆様を中心として将来の構想を考えてみたいと思います。

末尾ながら、是非開学五十周年ぐらいに、この日の事を懐かしく振り返りながら、美しいまちなみを眺めることができれば…と今後の展開に期待しております。

地域行事トピックス

熱く チャレンジ 二〇〇四!

県立栗田養護学校 校長 千田 典夫

(秋田県特殊教育学校体育連盟会長)

第三回秋田県特殊教育学校総合

体育大会の水泳大会を八月二十七日に県立総合プールで、本大会を十月十五日に秋田市立体育館と多目的グラウンドで開催しました。県内十三校二分校一分教室の特殊教育学校と特殊教育学校から、それぞれ六百四十一名と七百六十四名が参加して、熱くチャレンジをスローガンに熱戦を繰り広げ、児童生徒と保護者がスポーツを楽しみました。

平成十四年四月に、スポーツを通じた社会参加と自立を目指して、東北・北海道で初めて、全国では十七番目に秋田県特殊教育学校体育連盟(特体連)を設立しました。十三年に設立準備に入ったときは、「何で今、スポーツ?」という教職員が多かったのですが、特体連を創ってから大会の開催のみならず、部活動が各校で盛んになって、体育・スポーツが学校の活性化に大きな役割を果たすようになり、本当に嬉しく思っています。

大会を実施することによって、まず生徒が元気になりました。栗田のグラウンドを九時十五分頃から体力づくりで走り回っている生



徒を、午後三時半頃からボールを蹴っているサッカー部員達を新屋の方々は見る事が多くなったと思います。さらには先生方が明るく活動的になりました。十月三十一日には栗田の体育館で行われた北新町のバレーボール大会に、栗田の職員チームが参加させていただきました。優勝を味あわせてもらいました。全県の、そして新屋の特殊教育学校児童生徒・教職員が、この全国でも珍しい特体連全県総体を契機に、もっともっと何にでもチャレンジしてまいりますので、今後とも御支援・御指導をよろしくお願いたします。

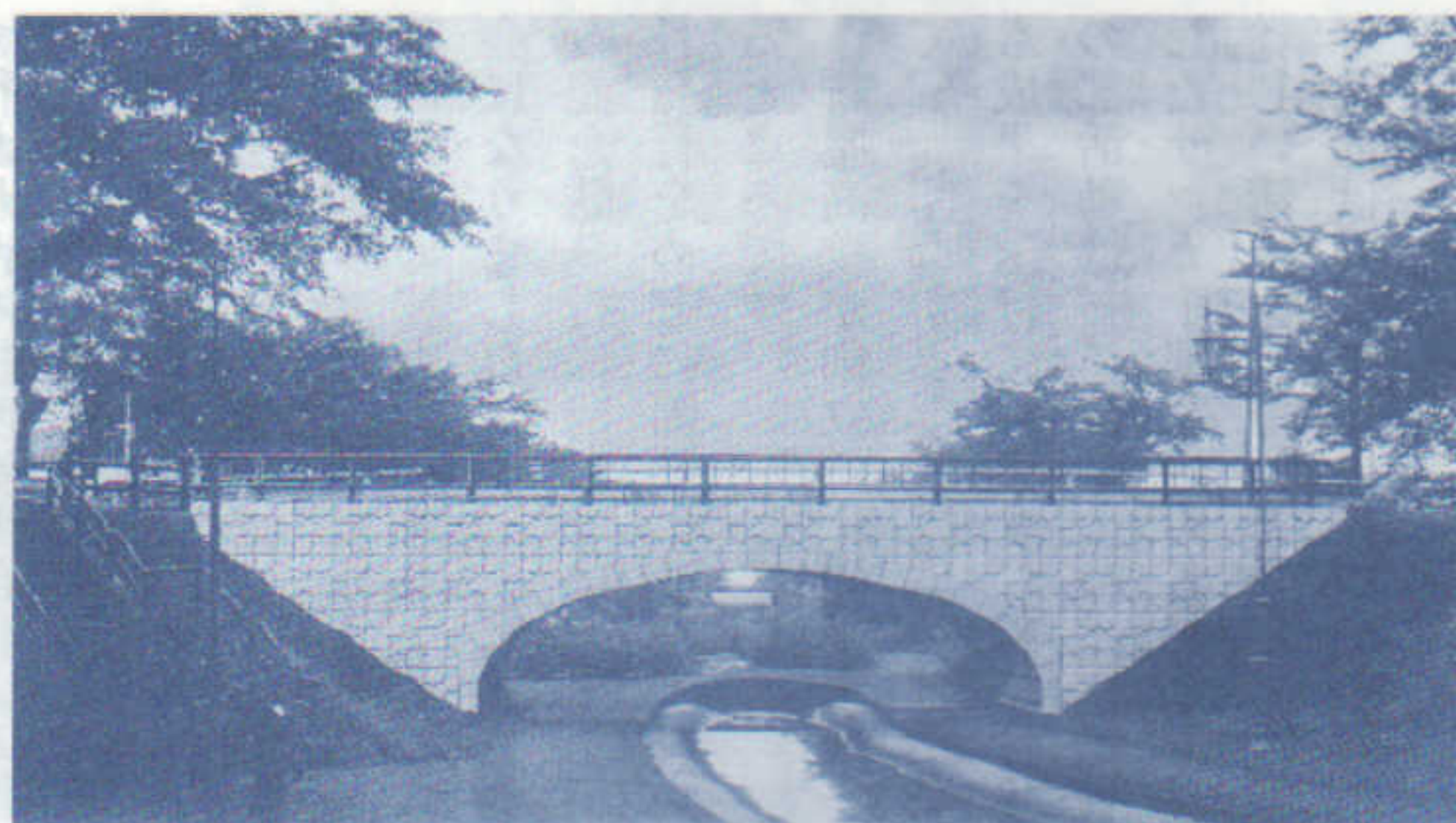
新屋桜橋架替工事について

昨年八月から始まった新屋桜橋橋梁架替工事も急ピッチに進み、「あらや衆報」が皆様の家庭に配られる頃は、通行も可能になっている事と思います。

橋の長さ二十九M、幅が車道六M、歩道三・五Mと車道も車が、交差出来ますし、子供達も安心して橋を渡ることが出来る歩道のある素晴らしい「新屋桜橋」です。

冬期間は新しい橋の塗料等が出来ないため、完成は三月の下旬になる予定です。又、公園内の散歩道の通行は橋の完成時と一緒との事です。

新しい橋は、今までと違って車は、大変通りやすくなります。唯、橋を渡ってからの市道は、今まで



と変わりなく狭くなっています。車を運転する皆さんスピードは控えめにお願いします。

第二回ゴミフォーラム開催

昨年十一月十四日(日)新屋振興会主催の第三回ゴミフォーラムが開催されました。

住民が丸となってきれいな町をつくらうと、町内会からの要望がきっかけで、第一回は平成十四年十月に開催され、ふるさと美化推進チームリーダーの講演がなされ、きれいなまちづくりの実現に向けた取り組みを紹介。続いて

住民六人がパネリストとなり、色々な意見や提案が出されました。第二回は、平成十五年十月に開催され、前年度のフォーラムで、子供達を含めた意見交換も必要との提案を受け、新屋地区の小・中・高の生徒さん、又美短の学生さんから住みよいまちづくりについて、若い人の角度から発言がなされました。

ISO 9001 認証取得
FMT 高白色度を誇る
炭酸カルシウム製造

株式会社 ファイマテック
秋田工場

代表取締役 片山 正治

西部工業団地 秋田市新屋島木町1-34
TEL 018-828-0171
FAX 018-828-0173

出光興産新屋給油所

新屋アポロ

大川町10-25
TEL 828-4224

外装金属パネル 内装用リバーシブルウォール
内外装アートパネル

VIVI-TONE Jet Panel

創造と開発と... DOKO

株式会社 道光産業

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-47
TEL018-828-8111・FAX018-828-8100
URL http://www1.ocn.ne.jp/~doko/

そば粉・もち粉製造販売

富士製粉産業株式会社

代表取締役 升谷恵美子

〒010-1633 秋田市新屋島木町1番62号
TEL018-828-5701
FAX018-828-0515

水まわりのご用命は当社へ

秋田市指定工事業者
雄和町指定工事業者

吉田ビニール(株)

秋田市新屋島木町1番46号
西部工業団地内
TEL 018-828-2811
FAX 018-828-2817

農業・肥料・農業資材・種子
無人ヘリコプター

小泉商事株式会社

秋田中央営業所

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-136
TEL 018-888-8811
FAX 018-888-8666

JR券
航空券
宿泊券
etc

“旅は、新しいあなた
自身の発見です”

有限会社
フラワーツーリスト

永井 要

〒010-1635 秋田市新屋前野町11-6
TEL 018-828-5941
FAX 018-828-7083
携帯 090-2600-7082

華まいたけ注文を承ります。
御贈答品・お土産・御家庭の食卓に
市内、全国各地へお届けします。

十條きのこ園

秋田十條化成株式会社

秋田市新屋島木町1-1
TEL 828-1564
828-1776

今回は、町内会・各種団体（市民憲章・体協・婦人会・民生児童委員・老人クラブ・子供会世話人連絡協議会・防犯組合・西中PTA・新屋支所・新屋振興会）から代表四十名の出席で、座談会方式で開催されました。

主催者側を代表し高橋振興会会長より、美しいまちづくりのため活発な意見・提言をお願いしますとの挨拶があり、議長には振興会副会長の高野トヨさんを選出し、まず始めに、地域の現状についての意見を貰いました。

☆現状についての発言

※最近、帯状公園・公道等のゴミの投げ捨ては大部分なくなりました。これは捨てる人も少なくなっているが、それ以上に散歩途中ゴミ等を拾ってくれる人々が多くなっている事で、今後町内会を中心とした取り組みも必要。

※帯状公園の一部にたむろして食べ物や空をそのままにして帰る子供が見受けられた。又地下道に落書きがあり、市の道路維持課に連絡し消してもらった。

※ゴミに対する意識は、非常に高まっている、特に新屋高校の年二回実施している校外の清掃活動は素晴らしいことだ。

※市民憲章推進協議会では、年三回帯状公園の清掃を各町内会の支援を得ながら実施している。

参加人数も年々多くなってきた。年に何回か町内（各班）が中心となつて清掃を実施するのも大事ではないか。

※六・七・八月に町内の清掃（草刈り）を実施しているが、皆さんからよく協力してもらっている。

※町内にゴミ箱を多くしたいが、設置場所がなく困っている。

※町内で設置したゴミ箱に、町内以外の人に利用されている。

※側溝にまたがってゴミ箱を設置したので、それほど問題なく多く設置出来た。又、町内に関係なく近所の人々で、ゴミ箱を設置し管理してはどうか。

※捨てられているゴミを見たら、勇気を持ってそれを拾う気持ちが町をきれいにする。

次にきれいな町づくりをどう進めていくか、各代表より意見・提案をいただきました。

☆今後の取り組みについての発言

※ゴミフォーラムも三回目を迎える多数の参加者より貴重な意見等が出された。今後は推進委員会を設置し具体的に動く事が必要。

※組織（推進委員会等）を設置し、町内会を指導する事も必要。

※秋田市はゴミの分別が、簡単過ぎる。他県のように細かく分別



すると、ゴミに対する意識が生まれると思う。

※町内の役員は、町内のゴミ箱の実態を点検し、町内会を指導する。

※家庭の事も大事、少しでもゴミを少なくする意識づくりを婦人会としても、再度提案したい。

※雄物川新橋から栗田町に向かう道路は、空き缶等のゴミが非常に多いので、ゴミ箱の設置が必要（その他にも貴重な意見・提案が多くありました）

☆まとめとして

※新屋を美しくするため、モラル・マナーの向上を啓蒙していきたい。

※振興会の役員会で、推進会等の設置について早急に話し合っている。

いきなり。今回は町内会、各種団体の代表者によるフリートークキングで、それぞれの立場から活発な発言して

もらいました。新屋振興会としては、出された意見・提案を真摯に受け止め、美しいまちづくりに役立てていきたいと思っています。

イベントで元氣と輝きを…
「あらや大川散歩道雪まつり」

十條団地町内会 富田 漣

二〇〇二年の雪が舞い降る午後のある日、町内有志が賑やかに宴を繰り広げていた。その時、この雪と大川散歩道のロケーションを活かし、みんなでミニかまくらでも作ってみたいか……この一言で始まった。数日後、十数名の有志で大川散歩道約二〇〇メートル位の両側にミニかまくらを作り、夕方、ローソクに点灯。誰

秋田公立美術工芸短期大学（以降：美短）の玄関広場までの約一〇〇メートルを会場にすることに。美短に校内利用の相談を持ちかけ、合せて学生会の協力も得て第一歩を踏み出すことができた。当初は町内行事として子供からお年寄りまで気軽に参加してもらい、冬の一日をみんなで楽し



みながら親睦を図ることが目的だったが、新屋地域からの絶賛の声が多く寄せられました。このことから町内のコミュニケーションの場として考えながら少し輪を広げ、美短の他に隣町内会へも参加協力をお願いしながら実行委員会組織での運営に切り替え、一回目の不備だった部分を改善しながら、町内外の多くの方々の協力で第二回を開催し、多くの来観者を迎えることができました。

新屋には冬の行事がほとんどなく、ぜひ新たなイベントとして定着させ、地域交流や連携を図りながら、元氣と輝きのある新屋のために少しでもプラスになればと考えています。その思いを胸に、現在、実行委員会第三回目の開催に向けて準備中です。

冬の夜の光のファンタジーは人の心を和ませ、癒してくれる美しさが見せ場の一つですが、ミニかまくら作りから参加すると楽しさが倍増します。子供からお年寄りまでぜひ参加ください。会場お待ちしています。

■第三回あらや大川散歩道雪まつり

平成十七年一月二十九日（土）

●ミニかまくら作り…

午後一時～

●本部・十條団地町内会館

※ミニかまくら作りに参加の方は、少し大きめのポリバケツ、一升びん、スコップ、移植ペラなどを持参ください。

「元気な顔が集まって」

新屋地区敬老会

平成十六年度新屋地区敬老会が九月十九日（日）秋田市勤労者体育センターで、新屋地区社会福祉協議会が新屋婦人会のご協力を得て開催されました。

敬老会への出席対象者一、二八九名、うち三三〇名が元気に出席されました。

来賓の皆様から、出席者に対し、「いつまでも元気で活躍くださいますように」と励ましの言葉をいただきました。

また、日新小学校四年生、藤沢陽花さんから「おじいさん、おばあさんいつまでもお元気で長生きしてください」とメッセージが読み上げられました。

続いて婦人会会長熊地ケンさんより記念品の贈呈があり、出席者を代表して、南新町町内会の高島三男さんから主催者に対し、謝辞が述べられました。

引き続き懇親会に入り、浅野梅若社中の皆さんによる民謡と踊りが披露されると会場の皆さんは唄にあわせて手拍子をとるなど、笑顔いっぱいで大変盛り上がりしました。

また、待ちに待った飛び入りでも得意の唄などが披露され、拍手喝采を浴び、和気あいあいのうちに敬老会は終了しました。
全町内揃って行ったことが効を



奏し、帰りの際には「また来年も元気で会いましょう」と手を取り合って別れを惜しむ姿があちこちで見受けられました。
敬老会開催にご協力いただきました皆さんに深く感謝申し上げます。

第四回
新屋地区防災訓練実施される

好天に恵まれた十一月七日、第四回新屋地区防災訓練が西部グラウンドで実施されました。当日は十七町内会（確認分）と加盟各団体（消防団、交通安全協会、防犯協会、赤十字奉仕団）の百七十人が参加し、秋田市消防署新屋分署職員の指導の下、煙中避難訓練、バケツリレー、初期消火訓練、人工呼吸・心臓マッサージなどの救急訓練に取り組み、汗を流しました。



た。今年は新潟県中越地震、全国的な大水害に襲われただけに、災害から力を合わせて自分たちを守ることを決意しあった一日でした。

新屋地区の自主防災組織結成状況（平成16年10月31日）

① 県営住宅町内会自主防災隊	⑩ 日の出町町内会自主防災隊
② 十條団地町内会自主防災隊	⑪ 南新町町内会自主防災隊
③ 駅前町内会自主防災隊	⑫ 南団地町内会自主防災隊
④ 比内町町内会自主防災隊	⑬ 改良住宅町内会自主防災隊
⑤ 緑町町内会自主防災隊	⑭ 沖田町町内会自主防災隊
⑥ 中表町町内会自主防災隊	⑮ 愛宕町町内会自主防災隊
⑦ 大川町町内会自主防災隊	⑯ 田尻沢町内会自主防災隊
⑧ 北新町町内会自主防災隊	⑰ 下表町町内会自主防災隊
⑨ 笹町町内会自主防災隊	⑱ はまなす町町内会自主防災隊

第四回新屋地区自主防災協議会総会開催される

結成以来四年目を迎えた新屋地区自主防災協議会総会が九月一日開催され、地区の防災訓練実施、町内会自主防災組織の結成促進な

どの事業計画を決めました。
なお、自主防災組織の結成状況は別紙のとおりです。
総会終了後、恒例となった防災講

演会が開かれ、今野郁夫秋田市防災対策課長と鈴木和範秋田消防署新屋分署長がそれぞれ講演を行い、自主防災運動の大切さを訴えました。

十六年度
除排雪問題懇談会
開く

冬の除排雪問題を円滑に進めるため、十一月二十六日、町内会長、秋田市道路維持課職員、担当者などが出席して懇談会が開かれました。

市側から今冬の道路の除排雪の計画と概要が説明され、話し合いが進められました。そして、これまでの経験を生かして問題の解決を期して行くことにしました。

編集後記

おかげ様で一〇四号を発行することができました。ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。建都四〇〇年記念式典や学校行事など思い出の多い一年でした。月日が経ち、この新屋で過ごした年月がいつまでも心に残るように、新屋の行事を大切にしていきたいと思っています。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
新屋支所気付 新屋振興会広報部 電話 八八八―八〇八〇

編集委員

高橋 寛 森本 読春
伊藤 一 藤原久美子
藤田 強 石澤 千秋

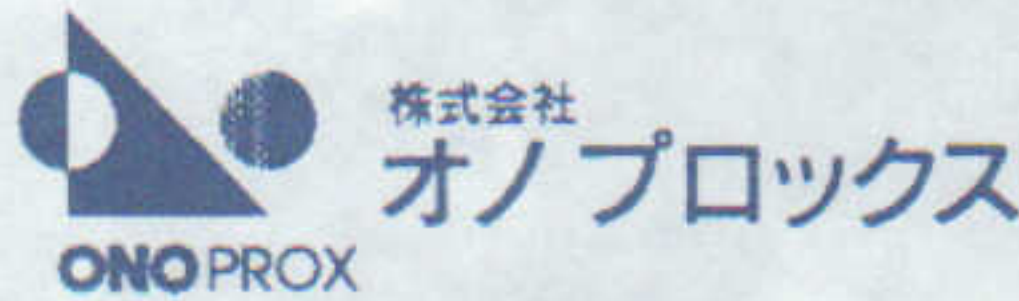


ガレージオートハウス

〒010-1622 秋田市新屋日吉町11-1

TEL (018)828-0208

快適生活製造業



TEL 828-2108 FAX (018)828-2177

創業1960年

秋田大橋のたもと
地元のガソリンスタンド



新屋石油 合資会社

秋田市新屋大川町10の29

TEL (018) 828-4126

FAX (018) 828-5294